

田底子ども育成会研修会(報告)



日時：令和4年5月7日(土) 19:10~19:45
場所：田底地域コミュニティーセンター 和室
参加者：田底子ども育成会(田底校区9子ども育成会の連合)
単位子ども会 育成会会長9人
熊本市子ども会育成協議会事務局(白石・吉住)

田底子ども育成会の会合を利用して、市子協の研修会(講話)を実施しました。一昨年からで3回目となります。育成会長様は昨年目から引き続きという方もおられますが、一昨年お話しした、「子ども会活動のあり方」と本年3月下旬に、熊本市生涯学習課主催、市子協共催の「子ども会育成者オンライン講習会」の動画(YouTube)の内容を元にお話ししました。集まった育成会会長の皆さんは一生懸命に聞いて下さってありがとうございました。プレゼン内容を印刷した資料お配りしましたが、以前からお配りしているいろいろな資料と今回お配りした資料をじっくり読み込んで頂くと、今後の子ども会活動の企画と運営に何らかのヒントになると思います。

田底地域で以前から取り組んで居られる子ども会活動に、今回の内容、資料の内容をちょっとでもプラスして頂けたら幸いです。

今回の講話の機会を与えて下さった、田底子ども育成会の会長さん初め皆様方に深く感謝いたしますと共に、田底校区の子ども会の益々の発展と子どもたちの健やかな成長を祈念いたします。

講話の項目

「子ども会活動のあり方」

- 子どもによる 子どものための 子ども会活動 ○めざす力 ○力をつけるために
- 子どもが主体の活動 1 学校教育 ・総合的な学習 ・特別活動
- さらに力をつけるために 学校だけでは得られないもの ・子どもの頃からの体験が大切
- 子どもが主体の活動 子ども会 ・多くの体験 視野を広げて 大きく成長
- 年齢の近い 異年齢集団のよさを見直そう ・体験の場 ・仲間作りの場 ・豊かな人間形成の場
- 子ども会の構成 ・子ども会 ・育成会 ・ジュニア・リーダー、シニア・リーダー
- 大人の役割、リーダーの役割
- 市子協への加入を ・活動・交流の場を広げる ・万一の事故に備える
- 子ども会活動中の事故の例

「子ども会の企画と運営 2」

1 子ども会活動の理念(キーワード)

- かわいい子には体験を
- 子どもによる 子どものための 子ども会活動

2 子どもの願いと大人の現実とのギャップ

- (1) 子どもの願い (2) 大人の現実

3 互いの変革を ・歩み寄りの互いの自己変革を

4 実践 ・子ども会活動2つの理念を念頭に

- (1) 例年の活動を参考に、まず、とにかく、計画すること
活動をやめてしまう(教育効果ゼロ) マイナスと、対策で減らせる感染リスクを十分考えて判断
- (2) 活動の幅を広げたい ①他の子ども会の活動を参考に ②市子協の資料を参考に



- (3) コロナ禍における子ども会活動 ・全子連のガイドライン参照
・活動している子ども会 ・LINEやZoomで

(4) 活動の意義を深めたい。

(5) 地域に関わる活動

(6) 季節の行事

(7) お楽しみの活動

5 活動の例

活動26 「地蔵祭り」のここがすごい

その他の活動については

「子ども会活動実践編1, 2を参照



【《ここがすごい》手法はその活動だけに限られたことではなく、他の活動にも生かせる・応用できる手法ですので大いに参考になると思います。】



※ 講話の前後に、9つの子ども会全部が、
熊本市子ども会育成協議会に加入手続き
をされました。